

## 令和6年度 緑化活動啓発作品コンクール 審査講評

### 〈総 評〉

- ・応募いただいた学校数は昨年より1割程度増加し42校であり、特にポスター原画中学校の部では、学校数が5割増の16校、応募作品数は8割増の123と大幅に増加。全体の応募作品総数は694作品で昨年度より2割程度増加した。
- ・どの作品も熱心に取り組んだことがよく分かる魅力的な作品であり、どれも素晴らしいもので、選考に苦慮した。
- ・選考にあたっては、単に綺麗だったり技術的に優れているだけでなく、「森林づくり」や「緑化運動」としての思いが表現されており、かつ、ポスターやチラシという啓発媒体にふさわしい作品を選定した。

### 〈ポスター原画〉

#### ■小学校の部：最優秀賞「北海道教育長賞」

画 題	「私たちの手で」
作 者	北見市立大正小学校6年 滝口 瑛良 (たきぐち さら)
制作意図	自然の生き物を、大切に守ることを伝えたい。
講 評	パステル調の優しい色づかいで、大きな木と様々な動物たちを支える人の手が、自然を大切にしようという気持ちとして描かれている上手な作品。

#### ■中学校の部：最優秀賞「北海道知事賞」

画 題	「水の恵み」
作 者	釧路市立青陵中学校2年 中澤 友里 (なかざわ ゆり)
制作意図	もっと緑を増やして自然環境が少しでもよくなるようにみずみずしい葉や水滴を描きました。
講 評	みずみずしい色彩で木の葉1枚1枚が丁寧に描かれ緑の風を想像させられる。新芽に一滴の水が落ちる瞬間は未来への希望が感じられる作品。

#### ■高等学校の部：最優秀賞「北海道森林組合連合会会長賞」

画 題	「みんなで支える木の命」
作 者	北海道富良野緑峰高等学校2年 高井 漣 (たかい れん)
制作意図	穴を埋めるためさまざまな生き物が協力し支えていく。
講 評	しっかりとしたタッチで力強い大木といろいろな生物が描かれ、明快なコントラストで明るく楽しくなるような作品。

注：「制作意図」は作者が記述して作品に添付したものです。

### 〈標 語〉

#### ■最優秀賞「北海道知事賞」

作 品	「聞かせたい 木々ゆれる音 未来でも」
作 者	苫小牧市立ウトナイ小学校6年 柴田 夏帆 (しばた かほ)
講 評	豊かに生い茂る森林の様子が「木々ゆれる音」という表現で感じとられ、それを未来に残していきたいという強い思いが伝わる作品。